

農山漁村地域整備計画

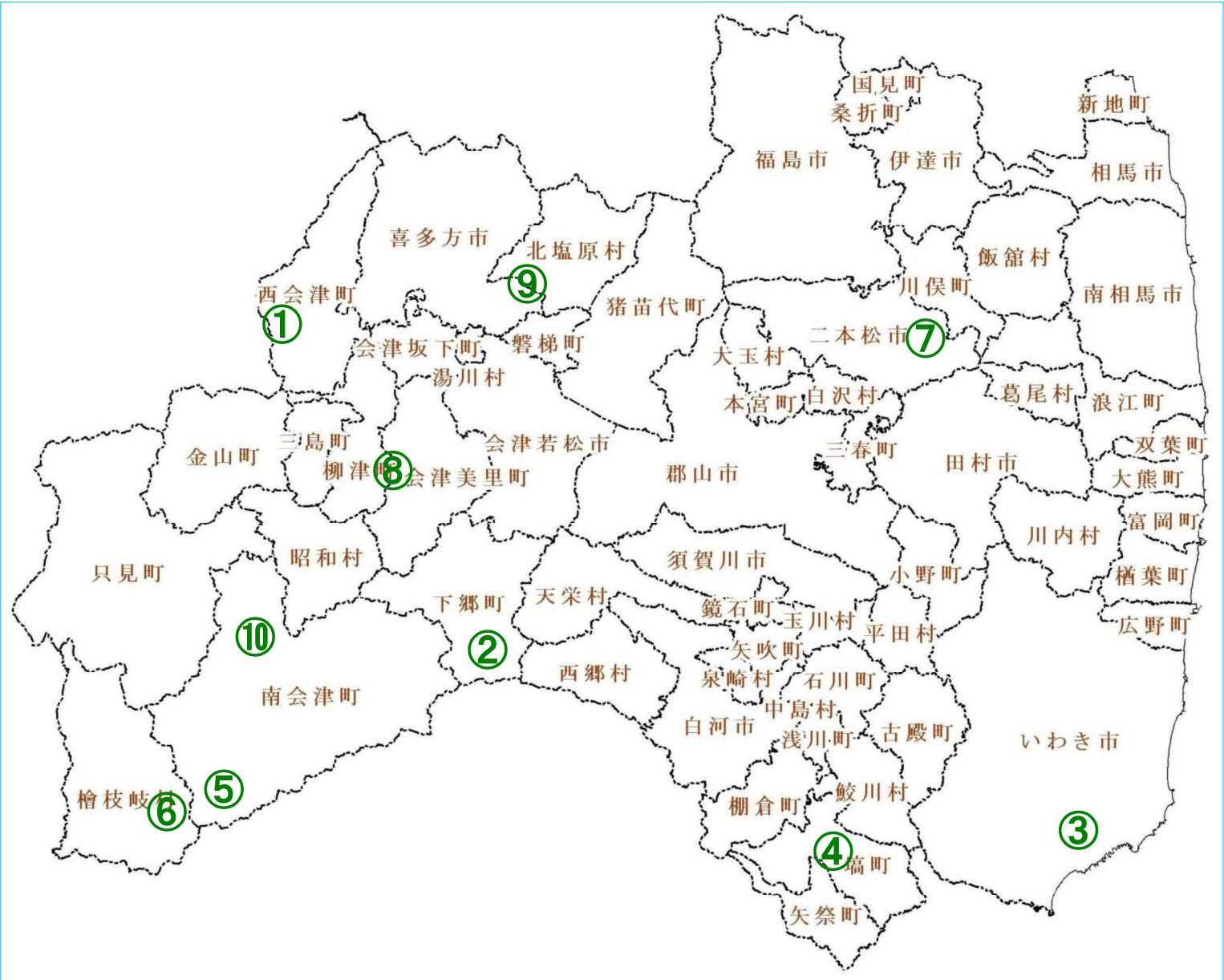
計画の名称 ふくしま森林整備計画
計画策定主体 福島県
対象市町村 いわき市、喜多方市、二本松市、南会津町、北塩原村、西会津町、会津美里町、塙町、下郷町、檜枝岐村 計 10市町村
計画の期間 令和7年度～令和11年度(5年間)
計画の目標 森林は、国土の保全、水源かん養、自然環境の保全や二酸化炭素吸収源などの多面的な機能を有しており、継続的な整備を要する。当県においては、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質拡散以後、森林整備が停滞する一方、放射性物質の拡散抑制に関する対策や知見の集積が進んでおり、森林林業の再生に向けた取組を進めている。 このため、林道等生産基盤整備により森林整備を促進し、森林の多面的機能の維持増進を図る。
定量的指標 (森林整備事業) 民有林内林道密度の増加(R7:7.20m/ha→R11:7.21m/ha)
対象事業 別紙のとおり

(別紙)

農山漁村地域整備計画の対象事業

[illegible]

農山漁村地域整備計画「ふくしま森林整備計画」位置図



位置	事業名	地区名
①	森林整備事業	林道岩井沢・木平線
②		林道大峠線
③		林道鮫川線
④		林道湯岐線
⑤		林道貝原線
⑥		林道館岩・檜枝岐線
⑦		林道羽山線
⑧		林道新鶴・柳津線
⑨		林道北塩原・磐梯線
⑩		林道田島・館岩Ⅰ線

農山漁村地域整備計画に係る事前評価

計画の名称： ふくしま森林整備計画

計画策定主体： 福島県

計画の目標： 森林は、国土の保全、水源かん養、自然環境の保全や二酸化炭素吸収源などの多面的な機能を有しており、継続的な整備を要する。当県においては、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質拡散以後、森林整備が停滞する一方、放射性物質の拡散抑制に関する対策や知見の集積が進んでおり、森林林業の再生に向けた取組を進めている。
このため、林道等生産基盤整備により森林整備を促進し、森林の多面的機能の維持増進を図る。

定量的指標： 民有林内林道密度の増加(R7:7.20m/ha→R11:7.21m/ha)

評価項目	評価の視点	評価	判 定
目標の妥当性	関連する計画との整合性が図られているか	○	阿武隈川地域森林計画書(R7-R16)では、「東日本大震災及び原子力災害からの復旧・復興として、放射性物質の影響を受けた森林環境の回復を推進すること、また、「適正な森林施業の実施や森林保全の確保を推進し、森林の有する多面的機能を発揮させる」ことが明記されており、森林整備を促進することは、本計画と合致する。
	地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	阿武隈川地域森林計画(R7-R16)では、「森林の持つ多面的機能への期待が高まって」おり、「持続可能な森林経営の一層の推進に努めることが課題となっている」ことが明記されており、地域の課題に対応している。
整備計画の効果・効率性	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	森林の多面的公益的機能の維持増進には、適切な森林整備が不可欠であり、林道等基盤の整備は、効率的な森林整備実施に寄与するものであり、目標と定量的指標は整合する。
	事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事業実績から把握できる指標であり、計画完了後、適切に評価できる。
	構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	森林整備促進のためには、林道等生産基盤の整備が不可欠であり、林内林道密度は、事業の実施による効果を評価するための指標として適切である。
整備計画の実現可能性	円滑な事業執行の環境が整っているか	○	事業主体は県及び市町村であり、円滑な事業執行の環境が整っている。
	地元の機運が醸成されているか	○	地元市町村及び森林所有者等からの要望であり、地元の機運は醸成されている。